

河川整備計画策定の報告

- ・伊自良川圏域
- ・長良川圏域
- ・宮川圏域

県土整備部 河川課

河川整備計画について

河川整備計画とは

河川整備計画とは、河川法(平成9年改正)に基づき、治水、利水、環境のバランスの取れた整備を計画的に実施するため、今後20～30年間に行う河川整備について、その方針や内容を定めるものである。

河川整備計画の策定の際には、河川法に基づき、学識経験を有する者、関係住民、関係市町村長の意見を聴くこととしており、「岐阜県河川整備計画検討委員会」等を設け、意見聴取を行う。

事業再評価と河川整備計画の関係

河川整備計画の策定は、岐阜県公共事業再評価要綱により、事業再評価に代わる手続きとして定められている。

『岐阜県公共事業再評価要領 第11条』

河川整備計画の策定・変更の際、学識経験者から構成される検討委員会等が設置されている場合、本委員会に代わり審議を行うものとし、その審議結果を報告することとしている。

『岐阜県事業評価監視委員会運営要領第2の(3)』

今回報告内容について

対象河川

今回は下記3圏域での『河川整備計画』について報告

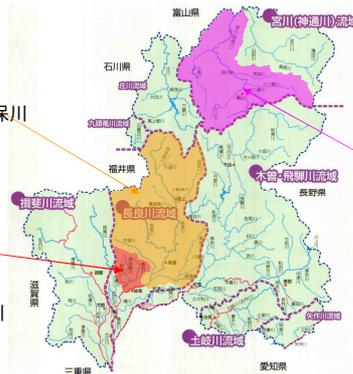
- ・木曾川水系 伊自良川圏域 (伊自良川圏域河川整備計画 : 平成18年7月策定)
- ・木曾川水系 長良川圏域 (長良川圏域河川整備計画 : 平成18年9月策定)
- ・神通川水系 宮川圏域 (宮川圏域河川整備計画 : 平成18年12月一部変更)

長良川圏域

長良川・亀尾島川・津保川
福富川・関川・吉田川

伊自良川圏域

伊自良川・鳥羽川
板屋川・石田川・正木川



宮川圏域

宮川・稲越川・荒城川・宇津江川
瓜巢川・川上川・牧谷川・大楯谷川
苔川・大八賀川・江名子川

伊自良川圏域河川整備計画

伊自良川圏域の概要

流域面積 : 約160km²

幹川延長 : 約24km

流域内人口 : 約18万人

伊自良川は山県市南西部の釜ヶ谷山を源とし、山県市、岐阜市において各支川を合流させ、長良川に流入する一級河川

伊自良川圏域の治水に関する現状と課題

過去の主な水害

		床下(戸)	床上(戸)
S36.6.27	梅雨前線豪雨	250	120
S49.7.25	集中豪雨	614	128
S51.9.8	台風第17号	14,803	7,795

【課題】

- ・伊自良川、鳥羽川、板屋川は、ほぼ全川堤防が整備されているが、河道内の掘削等がなされていないため、断面不足の箇所がある。
- ・石田川、正木川は下流から改修を進めているが、上流部において断面不足の箇所がある。



S51.9浸水状況

伊自良川圏域河川整備計画

河川整備に関する意見

整備計画を立案するにあたって、関係住民の意見を聴くため地域検討会、学識経験を有する者などの意見を聴くため岐阜県河川整備計画検討委員会を開催

地域検討会(4回)

岐阜県河川整備計画検討委員会(2回)

H18.7 策定

住民アンケート(2,500戸)



地域検討会状況(会議)



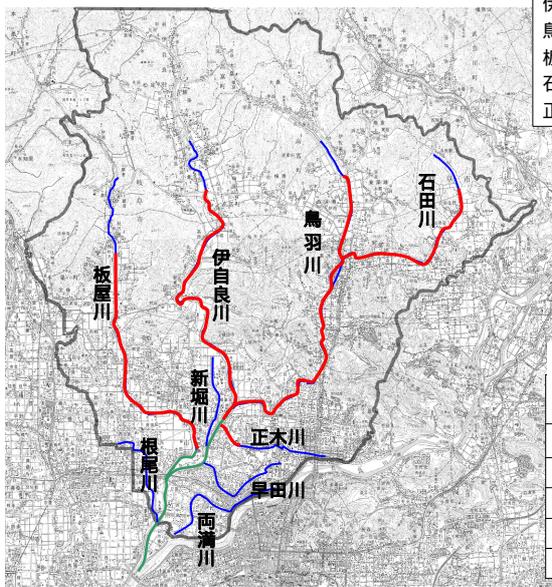
地域検討会状況(現地調査)

[意見の例]

- ・未改修区間の河川改修を行って欲しい
- ・散策や自然観察、水遊びなどのできる川にして欲しい
- ・清掃や消防活動のために川に降りられるようにして欲しい
- ・農業用水取水時に川が干上がり魚が死んでしまうため、深みが必要ではないか

伊自良川圏域河川整備計画

河川工事の目標と施工場所



伊自良川 }
鳥羽川 } : 概ね5年に1度の洪水に対応
板屋川 }
石田川 }
正木川 } : 概ね30年に1度の洪水に対応

流域
国土交通省管理区間
県管理区間
対象区間

再評価対象事業

河川名	区間延長	着手年度	前回評価実施年度
伊自良川	9.8km	S45	H15
鳥羽川	10.8km	S48	H15
板屋川	8.2km	S43	H15
石田川	6.0km	S52	H15
正木川	0.8km	H5	H14

長良川圏域河川整備計画

長良川圏域の概要

流域面積：約1,985km²

流路延長：約166km

流域内人口：約23万人

長良川は郡上市大日岳を源とし、濃尾平野を南下、三重県で揖斐川に合流し伊勢湾へ注ぐ一級河川



長良川圏域の治水に関する現状と課題

過去の主な水害

		全半壊 (戸)	床上 (戸)	床下 (戸)
S34.9.26	伊勢湾台風	2,800	1,961	5,007
S35.8.11	台風第11号	496	2,647	4,770
S36.6.20	梅雨前線	27	3,931	19,721
S51.9.8	台風第17号	96	5,845	1,886
H2.9.19	台風第19号	11	30	129
H11.9.15	台風第16号	8	154	487
H16.10.20	台風第23号	130	558	469



H16.10被害状況

【課題】

- ・長良川中流部の無堤部などでは5年に1度の洪水にも対応できない
- ・長良川中流部の有堤部でも20年に1度の洪水に対応できない区間がある
- ・支川では10年に1度の洪水にも対応できない区間がある

長良川圏域河川整備計画

河川整備に関する住民意見

整備計画を立案するにあたって、関係住民の意見を聴くため地域検討会、学識経験を有する者などの意見を聴くため岐阜県河川整備計画検討委員会を開催

地域検討会(23回)



岐阜県河川整備計画検討委員会(2回)



H18.9 策定



地域検討会状況



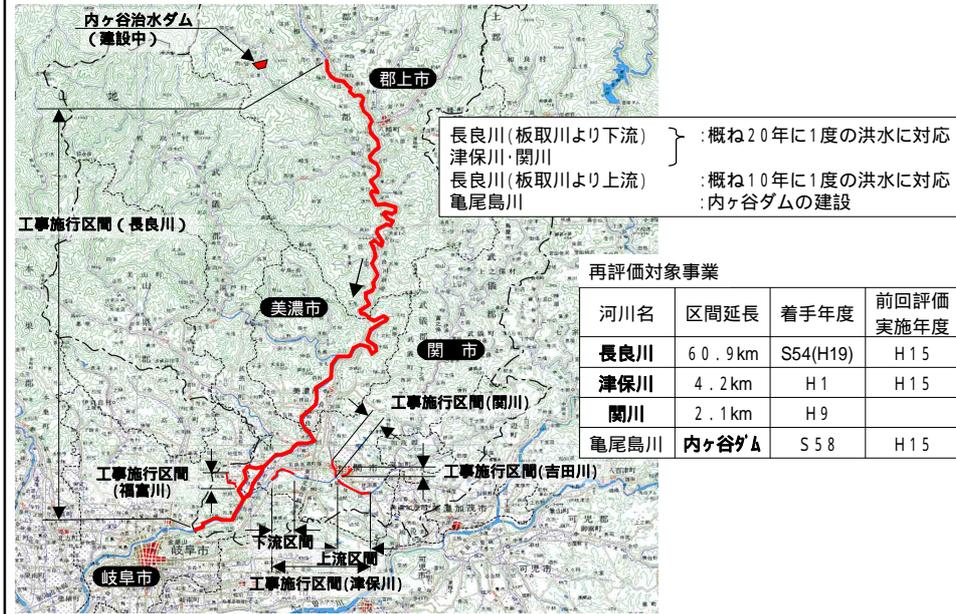
整備計画検討委員会状況

【意見の例】

- ・経済的な問題もあるが、住民の生命財産を守るという課題には最優先に取り組んで欲しい
- ・住んでいる地域の危険度を知ってもらうことが重要である
- ・環境と折り合う工事にして欲しい。護岸工事も減らして欲しい
- ・アユなどの遡上期には工事を控えるようにして欲しい
- ・川原のゴミが非常に多くなってきている

長良川圏域河川整備計画

河川工事の目標と施工場所



宮川圏域河川整備計画

宮川圏域の概要

流域面積：約1,159km²

流路延長：約76km

流域内人口：約10万人

宮川は高山市・飛騨市を流れ、高原川と合流後、神通川と名称を変え、富山湾へ注ぐ一級河川

宮川圏域の治水に関する現状と課題

過去の主な水害

		床下(戸)	床上(戸)
S58.9.28	台風第10号	94	27
H11.6.30	集中豪雨	8	0
H11.9.15	台風第16号	200	52
H16.10.20	台風第23号	719	644

【課題】

- ・近年の宅地開発により、市街地を流れる苔川、江名子川で治水安全度が低い
- ・宮川本川は概ね5年に1度発生する規模の洪水しか安全に流下させることができない区間がある



H16.10被害状況

宮川圏域河川整備計画

河川整備に関する住民意見

整備計画を立案するにあたって、関係住民の意見を聴くため地域検討会、学識経験を有する者などの意見を聴くため岐阜県河川整備計画検討委員会を開催

平成13年策定整備計画

地域検討会
32回

整備計画検討会
3回

H18.12
一部変更



地域検討会状況



整備計画検討委員会状況

【意見の例】

- ・堰などの狭窄部を改善して、洪水に対する安全性を確保して欲しい
- ・ダムを早く建設して欲しい
- ・子供が遊べる川にして欲しい
- ・散策路などの整備をして欲しい

宮川圏域河川整備計画

河川工事の目標と施工場所

凡例

- 平成13年 策定
- 変更河川(追加)
- 変更河川(内容変更)

再評価対象事業

河川名	区間延長	着手年度	前回評価 実施年度
宮川	33.6km	H13	
宇津江川	4.2km	H13	
苔川	4.3km	H1	H17
荒城川	丹生川ダム	H1	H17
大八賀川	大島ダム	H8	H17

参考(災害復旧助成事業)

河川名	区間延長	着手年度
瓜巢川	4.6km	(H16)
川上川	13.5km	(H16)
牧谷川	4.9km	(H16)
大櫛谷川	2.4km	(H16)

災害復旧助成事業(H16～H20)のため事業評価の対象外

- 宮川
宇津江川・苔川 } :概ね30年に1度の洪水に対応
- 荒城川 } :丹生川ダムの建設
- 大八賀川 } :大島ダムの建設
- 瓜巢川・川上川 } :概ね20年に1度の洪水に対応
- 牧谷川・大櫛谷川

